

第9回 市民と議会の意見交換会

(記録)

- 1 開催日 令和6年5月26日(日曜日)
- 2 会場 市役所本庁舎、築地農村環境改善センター
黒川地区公民館、きのと交流館
- 3 実施要領 議員を2グループに分け、意見交換を実施。テーマは、①「子育て・教育、健康・福祉、産業・雇用・生活基盤について」、②「その他(地域の課題などについて)」を設定。
- 4 参加者 20名
- 5 意見交換内容

【1班】

- 1 開催時間 午後3時00分～午後4時30分
- 2 会場 胎内市役所 4階 全員協議会室
- 3 参加者 10名
議員 7名
八幡元弘 増子達也 坂上隆夫 森本将司 渡辺秀敏 渡辺栄六
丸山孝博

【主な発言】

○参加者「中学校の再編について」

市政方針によると、昨年10月に中学校再編検討委員会が設置され「統合する」「小中一貫型」「統合しない」を議論し、中学校を統合することに賛成の意見をいただいたとのことで、検討内容を踏まえ方針を示すとある。この方針は議会に諮られるのか。

⇒議員

検討委員会の結論が出て「市長と教育長部局で検討し、今年度中に市民に対し方針を明らかにしたい」とした。私は市民を対象にして意見を聴取した上で判断するべきではないかというスタンスであり、市民の声に耳を傾ける時期だと考えている。

⇒参加者

市民に公表するとのことだが、議会には公表しないのか。

⇒議員

議会と市民の公表は同時だと思う。

⇒議員

小中学校適正規模検討委員会を立ち上げ、各地区の代表である PTA、保護者や様々な市民の意見を聞いて昨年に答申が行われた。

⇒参加者

保護者には 2019 年に各小学校に希望者を集めて小中一貫校を選定し、その後にアンケートを取っただけでは。

⇒議員

市でどのように判断するのかは我々にも届いていない。

⇒参加者

アンケート結果は 4 校統合に賛成する方は微々たるものだ。反対多数の方はどういう説明をするのか。

⇒議員

議員それぞれの立場や意見があり、各々質問している。議会全体としては議決するときに決まる。

⇒参加者

学校再編は議決しないのか。

⇒議員

方針だけを議決することはない。議会は予算を議決するもので、学校再編についても執行前に予算として議案が提出されるので、それを審議する。

○参加者「議員定数について」

議員定数は 16 議席だが、有権者との比率を近隣市と比べると議員定数が多いと思う。議会で審議し削減するべきだ。

⇒議員

市でも議論を重ね、段階的に議員定数を削減してきた。一方で議員が減少すると身近に議員がいなくなり、地域の声が届きにくくなるといった声もある。

○参加者「胎内市のカレンダーについて」

胎内市のカレンダーは不要だと思う人も多いはずだ。

⇒議員

希望制にできるか執行部と相談してみる。

○参加者「長池展望台について」

長池に展望台を作るということで長池公園に行ったが、農産物直売所は開いていな

かった。30メートルの展望台は税金を使って作るのだろうが無駄だと思う。議員はどう考えているのか。

⇒議員

観光の一拠点とするのならば、グランドデザインを描き綿密な計画が必要だ。

⇒議員

建てた場合には市の財政負担が大きくなるだろう。財政負担を執行部に確認したが、理由があれば辺地債が使えるが、負担はあるとのことだった。個人としては難しいと思う。

⇒議員

観光に資する部分は多少あるが、高額な費用をかけて作っても観光でどれほど人が集まるのか。また、展望台の鍵の管理をどうするのが問題である。一般質問の答弁では近隣の人に依頼するとの事だが引き受ける人はいるのか。鍵の管理ができなければ難しいと思う。

⇒議員

市報に掲載された後、ゴールデンウィークに沢山の抗議電話が来た。内容は否定的な意見であり、見直すべきだと思う。

⇒議員

長池公園の普段の集客は未知数である。まずは人の賑わいを作ってから展望台を作るべきで、今の段階で多額の費用をかけて作るのは違和感がある。

⇒議員

地元の人ですら反対意見を聞いている。まずは周辺の整備が必要で、先に展望台を建てるのは順番が違うのでは。一般質問した時は20メートルと答弁していたが30メートルになっていた。段階を踏んで予算を考えてからだと思う。

○参加者「市道本町・西栄町1号線について」

西栄町の市道の水路はグレーチングで蓋をして綺麗になったが、電柱が邪魔をして危ない。

○参加者「議員視察について」

昨年議員視察に行ったようだが、遠方へ行き市の為になる内容はあったのか。

⇒議員

政和会では長崎県五島市に行った。五島市は洋上風力が稼働し、年間100名ほどの雇用が生まれ、杭の部分にサンゴもできていて漁礁を確認した。今後市にフィールドバックしたい。

⇒議員

緑風会では北海道稚内市に行った。再生可能エネルギーが盛んで、多くの風力発電と大規模な太陽光パネルを設置している。固定資産税の収入はあるが、雇用は数名程度との説明があった。視察先は先進的な取り組みを行う市町村を選んでい

る。実際に現地に行くことと資料を見るだけでは大きな違いがある。

○参加者「水泳授業について」

昔、村松浜の水泳授業で6人が亡くなり、同級生で石碑を小学校に建てた。市のPRとして使ったらどうか。

⇒議員

水の事故の貴重な意見であり参考にしたい。

○参加者「リップルの活用について」

農家の方や障害のある方が利用する施設として、リップルを農産物加工施設として利用できないか。期間限定のイベント利用だけではもったいない。

⇒議員

農産物の直売を目的として建てられた施設である。加工施設として使えるか市に確認したか。

⇒参加者

補助金の関係で、奥の部屋は交流の場所として使用しなければならないとの事であった。北側の方は長いので囲って何かできないか。

⇒議員

良い意見だと思う。赤字を理由に委託業者が変わり、昨年より委託業者を募集したが応募はなかった。その時に希望しなかったのか。

⇒参加者

希望していない。販売に魅力を感じない。

⇒議員

集客できれば観光に資する部分が増える。加工所に変更する案は賛成だ。

⇒参加者

農協の加工所はなぜやめたのか。

⇒参加者

出品者も高齢で、諸般の事情でやめたようだ。またJAへの出荷などで多忙なもの一因だと思う。

○参加者「避難所のあり方について」

能登半島地震で多くの方が避難所へ移動する中、障害者を持つ家庭は避難しても車の中で待機していたと聞いた。障害者用に個室を用意できないか。また、避難所に合併浄化槽を設置してはどうか。

⇒議員

福祉避難所を用意している。パーテーションで区切るなどの配慮もある。総合体育館にはマンホールトイレがあるが、全ての避難所にはない。避難所運営の参考にしたい。

○参加者「展望台について」

展望台の話は昨年議会だよりで初めて知り、市報を見て驚いた。本当に必要なものは何かを良く考え議決してほしい。

⇒議員

貴重な意見であり参考にしたい。

○参加者「図書館について」

旧中条体育館の跡地に図書館を作ってほしい。近隣市町の図書館は立派である。

⇒議員

生涯学習施設が検討されており、場所は旧体育館跡地が良いとの意見もあるが、市全体としてはどの位置が良いか、災害時や緊急時に対応できるかなど、総合的な判断で選定される。皆さんの意見を聞きながら早急に建設できるようにしたい。

- 1 開催時間 午後6時00分～午後7時30分
- 2 会場 きのと交流館 大広間
- 3 参加者 3名
議 員 7名
八幡元弘 増子達也 坂上隆夫 森本将司 渡辺秀敏 渡辺栄六
丸山孝博

【主な発言】

○参加者

中条高校は今年20名程度の入学者数である。市から高校が無くなったら人離れが加速すると思うが、今後どうしたら中条高校の生徒を増やせるか。また、存続できると思うか。

⇒議員

高校のレベルを上げなければならないだろう。高校は県の管轄であって市では連携協定くらいしかできない。普通科だけではなく工業系に特化するなど工夫が必要だ。

⇒参加者

中条高校に工業系の部門はあり、主に製造業部門である。市内の学校に行く事で送り迎えが楽になるなどメリットがある。無理やりでも出来の良い子を集める事ぐらいしないと学力は上がらない。

⇒議員

学校に魅力がないと進学しない。

⇒参加者

商工会では企業と連携して中条高校卒業生を企業で採用することを推し進めて行く。市も議会も含めみんなで押していく流れを作りたい。

⇒議員

市のためであれば議会はもちろんのこと、行政、教育、企業や卒業生など皆で連携してやりたい。

⇒参加者

中条高校では地域学習を5年前から行い、さらに地元企業に就職するように教育している。企業側としては少しでも質の良い人材が欲しい。

⇒議員

地域連携協定の中で取りまとめをしなければ進まないのでは。

⇒議員

ほとんどの議員が現状を把握していない。これを契機に解決していくべきだ。

⇒参加者

難しく長い時間が必要な問題で5年、10年かけて取り組んでいく問題だ。

⇒議員

以前熊本県の元校長先生の講演を聞いた事がある。廃校寸前であったが、学力ではなくあいさつを重点的に取り組んだ結果、地元の評価が上がり持ち直した事があったそうだ。

○参加者

行政として企業誘致を進める専任担当を作るべきだ。南海トラフ地震、東京大地震を踏まえ太平洋側ではなく、日本海側に工場を作った方が良い。

⇒議員

若手で企業誘致の勉強会を6月10日に企画した。市職員も参加予定。候補となる企業を探すところまで行いたい。

⇒参加者

工業用地について、市はまだ空きがある。

⇒参加者

近隣市町村と比べ産業が強い。大きな会社以外の企業も強いと思う。労働人口を増やしていくべきだ。労働人口を増やすにはどうしたら良いか。

⇒議員

労働人口を増やすには所得を増やす事が必要だ。良い企業が誘致できれば、いい仕事生まれ、移住者が増え、結婚し、好循環が生まれる。好循環がなければ人は増えない。

⇒参加者

市は定住に対する施策が弱い。行政が定住を本気で考えれば企業が協力するだろう。

○参加者

長池に展望台を作ってどれだけの投資効果があるのか疑問だ。チューリップフェスティバルは一時的なもので、それ以外のシーズンに展望台に来る人は少ないのではないかと思う。洋上風力を眺めるのであれば、はまなすの丘に投資したほうが良いのではないか。

⇒議員

全体的な整備が先である。リップルも現在閉鎖している。展望台の鍵を誰が空けるかが問題だ。

⇒参加者

4億円かかり100%市税だと聞いたが本当か。

⇒議員

辺地債を使える地区かどうかは確認していない。

⇒議員

辺地債を使っても借金となり将来負担比率は上がる。また海の近くの建物は痛みが早い。前の会場でも、もっと先にやることのあるとの意見が多かった。

⇒参加者

長池を有効利用するために、スマートインターチェンジをオアシス化したら良いと思う。

⇒議員

長池からは距離がある。

○参加者

旧ウオロク跡地の駐車場をイベントで利用できないか。また建物を全天候型の子どもが遊べる屋内施設として整備できないか。

⇒議員

ウオロクが移転したことで産業道路の渋滞が解消したが、市役所前が混雑するようになった。旧ウオロクの地域では買い物に困る人もいるようだ。

⇒議員

屋内遊戯施設が市にはないが、雨の日ほどこの施設を利用しているのか。

⇒参加者

村上市の旧神納小学校や、新潟市の寺山公園に行っている。ほっと H0T 中条は時間が限られており使いづらい。

○参加者

小学校低学年の女子はまだ体が小さく筋力も弱く、和式トイレをまたいで用が足せない。休憩時間には洋式トイレに行列ができており、授業にも支障がでているため、早急に対応してほしい。

⇒参加者

便座を上付けて和式から洋式にできるものもあるが、代用できないか。

⇒参加者

学校教育課に相談したが断られた。現在数年かけて各小学校のトイレを洋式に変更している。保育園でも自宅で和式の練習するように言われるが、自宅に和式のトイレがなく練習できない。

⇒議員

以前に一般質問した当時は洋式トイレがなく、トイレを我慢して帰宅する児童がいた。今年3月時点で56%まで洋式化が進んだが、県レベルではまだ低い。

⇒参加者

全体のパーセントではなく、細かいところまで気にしてほしい。

⇒議員

全体的に女子トイレの数が少ない。今の話も含めて今後気にしていく。

【2班】

- 1 開催時間 午後3時00分～午後4時27分
- 2 会場 築地農村環境改善センター 会議室
- 3 参加者 3名
議 員 7名
小野徳重 渡辺宏行 薄田智 天木義人 坂上清一 羽田野孝子
寛智也

【主な発言】

○参加者

中学校統合については昨年検討委員会を立ち上げる報告があった。市民との話し合いの後に方針が出され統合が決定されるという順番だと思っていた。

⇒議員

再編検討委員会が10月から4回開かれ、どのような統合が良いか、新校舎設立となった際の場所や各地域と生徒の関わり、登下校問題など多岐にわたり検討された。その意見を参考に教育委員会にて精査し、広報等でお示ししてパブリックコメントを求めていくようだ。まだ統合が決まった訳ではない。

⇒参加者

昨年2月に小学校の送迎バスが1時間遅れる事案があった。待機所の設置について市で作るなどの考えはあるか。

⇒議員

検討課題であると思われる。

⇒参加者

待機所は各自治会で作ってほしいと言われた。教育に関することだから自治会任せにするのではなく、市からの補助金制などとすべきではないか。

⇒議員

自治会によっては合併特例債を活用したところもあるようだ。

⇒参加者

補助金を利用し農地に建設しようと考えたが、転用までに1年以上かかるらしく厳しい状況だ。今後も良く勉強して良い方向に持っていきたい。

⇒参加者

統合の場合に新校舎設立が必要だと思うが、その方向性は聞いているか。

⇒議員

10年後を目途にという計画の中で、中条中学校周辺か、ふれすぽ胎内付近かという状況のようだ。

⇒議員

憶測の話もいろいろあるようだが、現状ははっきり決まっておらず皆さまにお話しできる情報はない。

⇒議員

方針が確定するとして、現状の校舎の築年数が古いものばかりのため、喫緊の課題なのは間違いない。

⇒参加者

教頭先生からの話では、雨漏りなどあってもなかなか補修の発注がされないとのことだった。

⇒議員

令和13年に、ある中学校では複式学級となるほど生徒数が減る予測があり、それまでには完了させる方向で進めるとのことだ。

○参加者

市民は中学校の統合に向けた動きがあることを知っているのか。子どもが居ない方であっても地域の問題である。市報やホームページだけでなくもっと情報発信をしてほしい。また、中学校が統合することで通学距離が長くなるなどのデメリットも発信していくべきではないか。

⇒議員

情報発信が足りないのはその通りだと感じる。人伝いに情報が変わり、決定のような話になっている。通学距離が遠い生徒への配慮の意見は検討会議でも出ており、現在教育委員会内で検討されている。ホームページもどこを見れば求めるページに辿り着くか解りづらく、議事録が多いと理解するのが大変である。現状は検討委員会にて出た意見をもって教育委員会で調整し、皆さまにお示ししてパブリックコメントを募集する段階だ。

○参加者

生涯学習施設の進捗状況について現況を教えてほしい。

⇒議員

3月議会で一般質問した際、市長より謝罪の言葉があった。生涯学習課長を中心に、今年度中に方向性を明らかにしたいという意向である。

⇒議員

期日を設けて進めるべきだと進言したところ、10年を目途に考えたいし、5年を目途に計画をはっきりさせたい考えだが、予算の都合もあるので、図書館が先か、市民が集まる場所が先か、或いは一緒のものを作るのか検討していきたいとのこと。

⇒参加者

現状は中断していると理解してよいか。

⇒議員

中断していたがこの件の質問により再検討していくという状況である。

○参加者

長池公園に展望台を作る計画があるが、地元からの数年来の陳情があつて計画されたものかと思えばそんな話は一切ないとのこと。優先度が違うのではないか。

⇒議員

昨年度の予算で基本設計に400万円が計上されたこともあり、3月議会にて質問し、計画案が固まり次第市報に載せるとの話であった。その後、エレベーターを設置するというので、様々気になることがある。また、市民からも展望台を作ってどうするのかという声が聞こえてくることから、我々もどう対応していくか検討していく必要があると思う。

⇒議員

所管については農林水産課とのこと。

○参加者

リップルの土地と建物の所有は市でよいか。

⇒議員

市所有で指定管理により運営していたが、現在は市直営となっている。

⇒参加者

リップルの土地は市が所有しているが、公園は他に地権者がいるということで良いか。

⇒議員

その通りである。

⇒参加者

ある方が土地を購入しようと調べたら、外国人に土地を買われていると言っていた。業者が外国人で空き地を調べながら動いているという話だったそうだ。一度外国人に売ってしまうと取り戻すことはかなり難しくなるので、議員各位も気にしてほしい。

⇒参加者

農地は農地法により簡単に買うことや資材置き場などに転用することはできない。

⇒議員

我々も初めて聞いた話で答弁できることはないが、今後気に留めたい。すぐに条例制定という訳にもいかないと考える。

⇒参加者

危機感をしっかり持たなければならない。

○参加者

冬季間の季節風で大量のごみが海岸に流れ着き堆積している。地域の関係者や市民、小中学生などが協力して清掃に取り組んでいるが追いついていない。海洋プラスチックごみの回収を4月か5月に一度行っていただきたい。

⇒参加者

築地の環境衛生協議会で毎年海岸清掃を行っている。ペットボトルの他、中国や韓国のごみや漁業網などが多く、毎年同じようにごみが溜まる場所がある。毎年国からの交付金があるようだが足りない。もっと国に働きかけるなど対策をしないといけないのではないか。

⇒議員

人力で対応できるレベルではないから、機械の導入などを考えるべきか。

⇒参加者

テトラポットや松林などにもごみがあり、機械だけでは難しい。ロープや網は砂に埋まり人力では抜けない。

⇒議員

海岸ごみの清掃には学校や団体が毎年のように行っているが間に合っていないということ。海岸清掃時に集積されたごみは市で回収していることを広く発信し、より多くのボランティアを募っていくのも一つの方法であるし、市・県が業者に委託するなども考えていかなければならない。

⇒議員

これから海水浴シーズンとなり、市唯一の海水浴場でもあるので、市の財産として守っていかなければならないと考える。

- 1 開催時間 午後6時00分～午後7時15分
- 2 会場 黒川地区公民館 和室
- 3 参加者 2名
議員 7名
小野徳重 渡辺宏行 薄田智 天木義人 坂上清一 羽田野孝子
寛智也

【主な発言】

○参加者

農地について、国からの補助金をもっと増やしてほしい。

⇒議員

国の対応となるため、現状、市では対応しかねる。

○参加者

船戸に計画されている最終処分場について、汚泥の処理等どうなるのか。

⇒議員

焼却灰処分となるため汚泥は発生しない。排水処理は下水に流せるレベルまできれいに浄化されて排水される。時期は令和11年からの操業を予定している。

○参加者

都市総合計画についてしっかり監視してほしい。

⇒議員

しっかり監視していく。

○参加者

樽ヶ橋遊園のボランティアだが、動物が死んだのに入場料が変わらない。魚の餌代のコストが高いことを指摘された。

⇒議員

動物や餌代の管理については把握できていない。

⇒参加者

ヤマボウシの木が弱ったことを理由に切られた。重要だと思いボランティアで管理している。どう思うか。

⇒議員

遊園内の樹木一つ一つ覚えている状況ではない。後日確認する。